

SWOT分析のオープン授業で検討結果を発表する女子生徒のグループ#2号館



学生生活に 夢膨らむ

大学・短大

金沢学院大学・短期大学の2009オープンキャンパス第1回は6月21日、金沢市末町のキャンパス内で行われ、訪れた約250人の生徒が志望する学部・学科の説明を聞き、オープン授業を体験して、学生生活に夢を膨らませました。

オープンキャンパス盛況

4号館講堂で行われた全体説明会で石田寛人学長が「本学の素晴らしい学習環境を見て、自らの可能性を探り、それぞれの心の鐘を鳴らしてほしい」と挨拶しました。生徒に対する学科ごとの説明会と並行して、初

「一日アーティスト」のオープン授業で切り紙の説明を聞く生徒#6号館



米粉のマドレーヌを焼き、皿に盛る生徒#5号館

めて保護者に対するガイダンスも行われ、就職や資格取得の支援体制について説明がありました。好きなメニューを味わうランチアワーのあと、各学科ではユニークなオープン授業が行われまし

制作の狙いなど語る
美術工芸学科公開講座 金沢学院大学美術文化学部美術工芸学科の公開講座「作家の想い・二つの世界」写真下は6月27日、金沢市民芸術村里山の家で開かれ、中町力教授と西田伸一准教授が創作活動のエピソードなどを話しました。中町教授は、人間の営



何でも相談コーナーで質問する男子生徒=5号館食堂

た。経営情報学部経営ビジネス学科の「SWOT分析」は外食産業の強み、弱み、機会、脅威を分析して発表する内容で、生徒たちはグループごとに検討した結果を発表する体験をしました。

短大食物栄養学科では、小麦アレルギーの子どもも安心して食べられる米粉のマドレーヌ作り挑戦し、味わいました。

みを間接的に感じさせるモチーフについて、西田准教授は観る人が物語を感じる作品づくりについて語りました。進行役は山崎達文学科長が務めました。

東高で梅さん講演
金沢学院東高校文化講演会は6月24日、多目的ホールであり、能登出身の写真家梅かのよさんが講演しました。梅さんは自分の作品を紹介したあと、「心を閉じていては見えないものが見えない。心を開くことが大切」と話しました。



かがり火会が60周年
金沢女子専門学園・金沢女子短期大学・金沢学院短期大学同窓会かがり火会の60周年記念パーティー「写真左」は6月21日、金沢エクセルホテル東急で約230人の同窓生が出席して開かれ、大西節子会長が「伝統ある母校の一層の発展を祈念したい」と挨拶し、飛田秀一学校法人金沢学院理事長、石田寛人学長が祝辞を贈りました。パーティーに先立ち、金沢学院大学の陶智子教授が「江戸時代のお化粧」と題して講演しました。

